

2026年版

ひえ小の子どもを伸ばす

(家庭) 学習の手引き

～主体的に学ぶ子どもを育てるために～



亀岡市立蕨田野小学校

1 なぜ家庭学習が必要なのか？



ひえ田野小学校では、昨年度から「自己決定」を合い言葉に、主体的に学習に取り組む姿を目指して取組を進めてきました。その中で、自分の力を伸ばすために、何をすべきか自分で考え、自分で決める姿がたくさん見られるようになりました。

今年度は、さらなるレベルアップを目指し、学校でもさらに研究を進めていきたいと考えております。

ここで、本題である「なぜ家庭学習が必要なのか」に戻りたいと思います。

小学校の学習は、将来子どもたちが社会人として自立するための基礎となる大切なものです。学校の子どもたちの学力向上に取り組んでいくと同時に、学校と家庭が連携することで学習内容がより確かに定着し、学力が伸びていくと考えています。

また、子どもたちのがんばりを認め、ほめたり励ましたりしていただくことで、子どもたちのやる気が高まると考えています。今年度は学習の足跡を残すため、スケジュール帳も導入します。ぜひ目を通していただき、サインや一言を添えていただければ幸いです。

この「家庭学習の手引き」は、本来の学力・学習状況調査の結果や児童の実態を踏まえて家庭学習の進め方についてまとめたものです。お子様と一緒にごらんいただき、家庭学習の手助けとしてご活用いただければ幸いです。

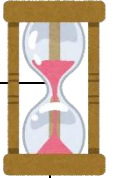
2 家庭学習のポイントは？

① 決まった時刻に毎日こつこつ学習する

学校では、各学年・各児童に応じた宿題を毎日出しています。家庭学習はとにかく毎日続けることが大切です。習い事やお出かけなどで予定が組みにくいときもあるかと思いますが、時間を上手に使って家庭学習の時間を生み出しましょう。

家庭学習時間の目安は次のとおりです。

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
学習時間	20分	40分	60分	60～90分	60～90分	60～90分



② 集中して学習する

学力を伸ばすためには集中して学習に取り組むことが大切です。長時間学習しても「ながら学習」をしていたのでは効果は上がりません。

勉強中モオ

- 家庭学習をしているときはテレビやゲームを切りましょう。
- 学習に関係ないもの（マンガなど）を近くにおかないようにしましょう。
- 整頓（せいとん）された場所で学習しましょう。
- できるだけ人やペットなどが通らない（動かない、見えない）場所で学習しましょう。



③ 子どものがんばりを認め、ほめて励ます

保護者の方々や教師が子どもたちのがんばりを認め、ほめたり励ましたりすることで自信が付き、進んで学習しようとする意欲が高まります。スケジュール帳も導入しますので、目を通していただき、サインや一言を添えていただくと幸いです。

ぜひ、子どもたちのやる気を引き出す関わりをお願いします。



④ 学力アップは規則正しい生活から

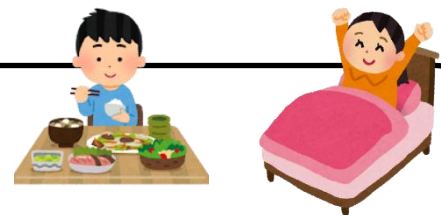
「早寝・早起き・朝ごはん」は、生活リズムの大原則です。生活リズムを整えることが学力アップにつながります。

- 朝は、6時30分までに起きる習慣をつけましょう。
- 朝ごはんを必ず食べましょう。
- 夜は遅くても次の時刻までに寝る習慣をつけましょう。

1・2年生：午後9時

3・4年生：午後9時30分

5・6年生：午後10時



3 家庭学習の方法は？

ご家庭で相談して、互いに納得できるルールを作るとスムーズに行えることが多いようです。

以下、参考にしていただければと思います(一例です)。

- (1) 学校から出る「宿題」を最初に取り組む。
- (2) 家庭で決めたルールに沿って自主学習に取り組む。
- (3) 読書は心の糧になります。子どもの成長に合わせて、読み聞かせや親子読書、感想の交流などに取り組んでみてください。

☆ 学習が終わったら、次の日の準備をする習慣をつけましょう。一緒に取り組んでいただいたり、「メニュー」として一覧表を貼っておいたりするとよいかもしれません。

- ・学校からの手紙を確かめる。
- ・えんぴつをけずる。
- ・週の予定を見て、明日の予定や持ち物などを確認する。
- ・ハンカチ、ティッシュ、帽子などをそろえる。



4 どんな家庭学習をするばいいの？

以下に示すものは、自主学習の例です。子どもたちの興味や学習の定着状況に応じて取り組んでみるとよいですね。

- 【国語】
- ・漢字練習 ・漢字ドリル ・意味調べ ・漢字の成り立ち ・視写(文写し)
 - ・日記 ・詩文の暗唱 ・読書の感想を書く ・ローマ字練習 ・ことわざ調べ
 - ・反対の意味の言葉調べ ・百人一首の暗唱 ・新聞記事を使った学習

- 【算数】
- ・計算練習 ・計算ドリル ・九九の暗唱 ・計算カードの暗唱
 - ・コンパス、分度器の練習 ・教科書巻末の「もっと練習」を解く

- 【社会・理科】
- ・国名、地名、産業、地形、気候などの調査 ・都道府県や県庁所在地調べ
 - ・地図記号調べ ・歴史上の人物の調査
 - ・天体、地層などの観察やまとめ ・植物、昆虫、魚などの観察や世話
 - ・身近で簡単にできる事件、観察、調査

- 【その他】
- ・その日学校で学習したことの復習 ・次の日に学校で学習する内容の予習
 - ・鍵盤ハーモニカ、リコーダーの練習 ・家庭科の実践 ・テスト勉強
 - ・テストのまちがったところをもう一度解く ・問題集を解く

☆ 問題を解いたときは、必ず答え合わせをし、まちがったところをもう一度する習慣をつけよう。

5 のびのびタイム パワーアップ！！

昨年度、月曜日に実施していた「のびのびタイム」では、以下の2つのコースに分けて学習を行いました。

- 1 プリントモンスター → 自分で選んだプリントで学習を進める
- 2 トライモンスター → 自主学習ノートでテーマを決めて学習する



昨年度の参加率【4～6年生】は80%と、たくさん子どもたちが参加してくれました。

今年度は、さらに子どもたちの主体性を引き出したいと考え、上記2つのコースに加えて、下記の新たなコースをスタートします。

☆検定モンスター☆

①計算検定

たし算、ひき算、かけ算、わり算の四則計算について、正解数とタイムを得点化し、検定を行います。

得点によって、10～1級に認定されます。

計算マスターを目指すコースです。



②暗唱検定

暗唱詩文集(30作収録)の暗唱にチャレンジします。

10作達成で「名人」、20作達成で「達人」、30作達成で「暗唱チャンピオン」となります。

めざせ、暗唱チャンピオン!!



③応募作品にチャレンジ

俳句や短歌、作文など、さまざまな応募作品にチャレンジします。

開催は募集時期によるため、不定期になります。

④スケジュール帳の導入

1年分のスケジュールを手元におき、自分で計画的に学習したり、予定を管理できたりする力の育成を目指します。

※3年生以上対象



6 読書活動の充実

昨年度は、図書室の改装や廊下、昇降口への本の掲示、朝の読み聞かせ実施などの活動を行い、子どもたちが本に触れる機会をできるだけ増やしてきました。

読み聞かせをしても、目と耳と心で夢中になって聴いてくれる子どもたちの様子がたくさん見られるようになってきました。

そこで今年度は、より子どもたちが本に親しんでくれるように、以下の取組を考えています。



- ①朝の読み聞かせ → 昨年度に引き続き、週2回朝学習の時間に読み聞かせを行います。
いろいろな本にふれあう機会をつくれます。



- ②家庭読書のススメ → 毎週の週初めに本【マイブック】を配布し、家庭での読書時間の確保【15分以上】を目指します。

- ③蔵書のバーコード化 → より手軽に本が借りられるように、また自分がどのような本を読んだのかが把握できるように、バーコード化を行います（2学期より開始予定）。

- ④アンケートの実施 → 子どもたちの実態を知ることを通して、さまざまな取組につなげていきます。

